

地域習得型研修01~11



知識習得型研修 実施方法

NPO法人HAP

2016.08.01~

知識習得型研修01~11 <講義受講方法>

- ①知識習得型研修は講義(テレビ会議形式講義も含)またはeラーニングにより行う
- ②講義形式の研修会は年に11項目2クール以上は必ず行うこととする。

基本開催の2クールの開催場所は、東京都内もしくは関東地区とする。他の地域でも希望開催も可能とし、希望者、希望団体等と協議して日程・場所を検討する。新規情報等が講義内容は、eラーニングでも、後日閲覧できるようにする。
- ③講義形式の研修会とeラーニングは、併用して受講することができる。例えばベースの受講をeラーニングとし、苦手な項目や、興味関心の深い項目を並行して、講義形式研修会で受講することも可能である。
- ④諸団体、地域において開催を希望する団体(地域薬剤師会および薬剤師職能団体等を含む)とは共催も可とし、協力して、なるべく多くの講義を聴講できるようなプログラムを検討する。集合研修に関しては、最少人数5名から実施を可能とする(別途費用については協議する)各地域で開催する研修課においては、技能習得型でなくても、項目を選択して講義内容を選択することも可能とする。

知識習得型研修01~11 <講義実施方法>

- ①全11項目について、最新の情報に基づき講義を行い、同時にeラーニング形式で講義内容を提供する
- ②受講者には、eラーニング用のテキストを送付する。全体を通じての推薦テキスト本を提示し熟読するよう推奨する。
- ③技能習得型講義の際や、メール等にて質問等を随時受け対応することとする

知識習得型研修01~11 <到達度の確認>

①受講者は、自己評価票を用いて各項目(全11項目)について、自己評価を行う。

②自己評価については下記の3段階で 各1点 2点 3点とする。

1点:項目の内容を理解した

3点:項目の内容を理解し、わかりやすく説明でき、具体的な目標がたてられた

5点:項目の内容を理解し、地域住民の視点でわかりやすく説明できると同時に

積極的に主体的に地域住民への啓発を行うことができる。(健康講座や

薬局にて内外掲示を行う、地域その他職へ講義を行うことができる)

(最高点55点で 技能評価と合わせて提出する)

知識習得型研修01~11 <修了の申告>

- ①受講者は、全11項目について、講義形式の講義もしくはeラーニングを受講し、自己評価票を用いて、自己判定を行う。
- ②自己判定終了後、確認テストを行う。
- ③知識習得型の研修においては 自己判定票と確認テストを、修了書申請時に添付するものとする。

判定基準 自己評価票38点以上 かつ 確認テスト70点以上

技能習得型研修01~03



技能習得型研修 実施方法

NPO法人HAP

2016.08.01~

健康サポート薬局の基本理念（1時間）

■ 学ぶべき事項

1. 健康サポート薬局の概要（理念、各種施策・制度、背景等）
2. 健康サポート薬局のあるべき姿に関する演習

■ 達成目標

1. 健康サポート薬局の社会的な位置付けを説明できる。
2. 健康サポート薬局の社会的ニーズを的確に把握でき、健康サポート薬局及び薬剤師のあるべき姿に向けて努力することができる。

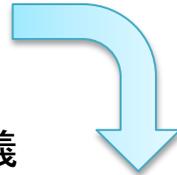
健康サポート薬局の基本理念（1時間）

Step 1 Lecture (20分)



- ・健康サポート薬局の意義
- ・薬局のあり方

- ・ミニマムコンテンツ
用語確認

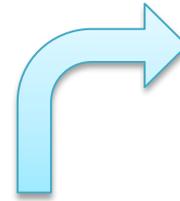


Step 2 role-playing (20分)

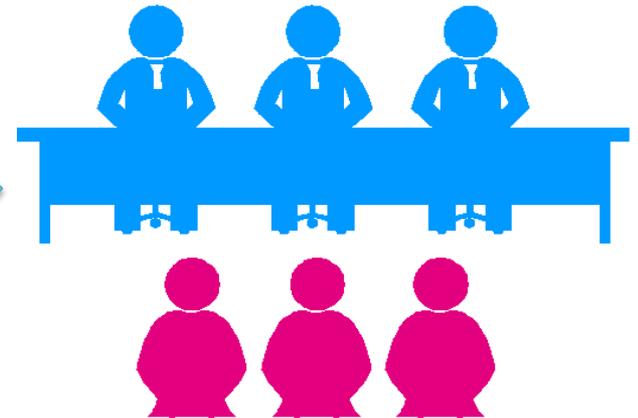
健康サポート
薬局とは？



2-3人組でロールプレイ
お互いの思いを語る



Step 3 discussion (20分)



健康サポート薬局の土台作り

- 8-10人で話し合い
- 「こんなことができる」
- 「こんなこともできる」
- 「こんなことはどうする？」
- 「どうやって広めようか...」



クロージング
+ 情報成果物共有

健康サポート薬局の基本理念（1時間）

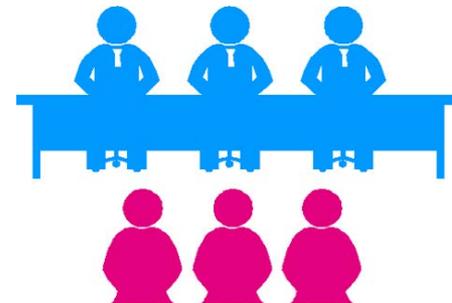
①講義 健康サポート薬局の概要（理念、各種施策・制度、背景等）（15分）

②SGD 2~3名で組になって語り合う

「健康サポート薬局についてわかりやすく説明する」（15分）

③SGD 8から10名で 結果を話し合い、あるべき姿について語り合い（20分）

④明日からの実務において、自分がすべきことをまとめる（個人ごと10分）



薬局利用者の状態把握と対応（4時間）

学ぶべき事項

1. 薬局利用者の相談内容から適切に情報を収集し、状態、状況を把握するための演習
2. 薬局利用者の状態、状況に合わせた適切な対応を行うための演習

達成目標

1. 薬局利用者との対話により収集した情報や身体所見などに基づき、薬局利用者の状態、状況を把握することができる。
2. 薬局利用者の相談内容から薬局利用者のニーズをくみ取り、解決策を提案することができる。
3. 薬局利用者の状態、状況に合わせた適切な対応(かかりつけ医や医療機関への受診勧奨、要指導医薬品等の推奨、生活習慣の改善のための助言、適切な対応先の紹介等)を判断し、実践できる。
4. 相談対応後のフォローアップができる。

薬局利用者の状態把握と対応 (4時間)

Step 1 Lecture (30分)

- ・トリアージ
- ・気になる症状
- ・受診勧奨
- ・OTC対応 他

matching



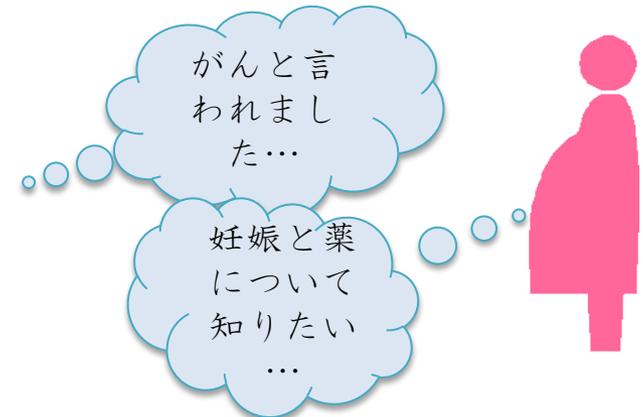
OTC医薬品 DI

Step 2 training time (3時間30分)

i) 患者の相談ニーズや訴える症状把握

ii) 対応(受診勧奨~OTC,紹介など)について考える

クロージング
+ 成果物共有



薬局利用者の状態把握と対応（4時間）

①講義：能力を身につけるための講義（30分）

- 1) 薬局利用者との対話により収集した情報や身体所見などに基づき、薬局利用者の状態、状況を把握することができる。
- 2) 薬局利用者の相談内容から薬局利用者のニーズをくみ取り、解決策を提案することができる。
- 3) 薬局利用者の状態、状況に合わせた適切な対応（かかりつけ医や医療機関への受診勧奨、要指導医薬品等の推奨、生活習慣の改善のための助言、適切な対応先の紹介等）を判断し実践できる。

②SGD 6~8名程度（人数が少ない場合や会場等により2~3名程度でもよい） 相談の代表的事例について、模擬実習を行う。（120分）

臨床診断のアルゴリズム、特徴の把握（LQQTSA、OPQRSTチェック）、
レッドフラッグサイン確認

取り扱う主な症状：下記の中から3つ程度選択し、それぞれについて状態・状況把握、対応について考える。

かぜ様症状、発熱、頭痛、咳・痰・呼吸困難、記憶障害、めまい・倦怠感
痛み（腰痛等） 消化器症状（腹痛、下痢、便秘等）

発疹、浮腫、嚥下困難、動悸・心悸亢進等

薬局利用者の状態把握と対応（4時間）

- ③ 講義(20分) 薬機法、要指導医薬品、一般用医薬品等の分類、種類について
- ④ SGD(30分) OTC医薬品等に関するQ&A SGD実際の事例検討
- ⑤ SGD(40分) 薬局利用者の状態、状況に合わせた適切な対応
(かかりつけ医や医療機関への受診勧奨、要指導医薬品等の推奨、
生活習慣の改善のための助言、適切な対応先の紹介等)を判断し、
実践できる能力を養うSGD

この項目では、がん、認知症、妊娠出産授乳、難病など様々なコンテンツの中から一つを選択しSGDを行うことで手法を学ぶこととする

地域包括ケアシステムにおける多職種連携と 薬剤師の対応（時間）

■ 学ぶべき事項

1. 地域包括ケアシステムにおける当該地域の医療・保健・介護・福祉の資源と役割の現状
2. 地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を発揮するための各職種・機関との連携に関する演習

■ 達成目標

1. 地域包括ケアシステムにおける当該地域の医療・保健・介護・福祉の資源と役割の現状について、地域住民の目線でわかりやすく説明できる。
2. 薬局利用者から健康の保持・増進に関する相談等を受けた際、適切な職種・機関へ紹介することができる。
3. 地域包括ケアシステムの中で各職種・機関と連携した対応を行うことができる。

■ レポート（研修成果物）

自分の地域の 地域包括ケア（特に医療介護等）に係る社会資源情報MAP

技能習得型研修03

地域包括ケアシステムにおける多職種連携と薬剤師の対応（3時間）

- ① 講義(20分)地域包括ケアの先進的事例における課題
- ② 講義(20分)地域多職種とその業務
- ③ SGD 6~8名程度(人数が少ない場合や会場等により2~3名程度でもよい)
(120分)40分@3題 もしくは60分@2題
様々な先進事例やとりくみ、薬剤師以外の職種の仕事と社会資源

テーマは、

- 1) 地域の資源を活用する方法(そもそも地域資源活用できているか?)
- 2) IPWの中で薬剤師はどのように多職種の中で協働してゆけるか?
- 3) がんの患者事例 (退院してきます)
- 4) 認知症の患者事例 (どのようにつなぎ協働しますか?)
- 5) 介護用品や排泄のことで悩んでいます。
- 6) その他 地域の課題を活用します

まとめとクロージング 20分



技能習得型研修 提出課題レポートについて

課題

【技能習得型1】

自分が勤務する薬局において、その地域の状況をふまえて、「健康サポート薬局」を地域住民に説明する文書もしくは案内(チラシやポスターでもよい)を作成して提出してください。

【技能習得型2】

薬局利用者の相談に対して、その利用者との対話により収集した情報や身体所見などに基づき、薬局利用者の状態、状況を把握し、ニーズをくみ取り解決策を提案した事例を2例提出してください。(今回の研修を受けて、学んだ技能を利用した実際の場면을想定した模擬症例でも可)

【技能習得型3】

- ①自分が勤務する薬局の地域における関連職種の配置に関する地域MAPの作成して提出してください
- ②地域包括システムを念頭におき、自分の勤務する薬局において薬剤師として、他の職と協働して薬局利用者に対応した事例を1例(匿名にした模擬症例でよい)を提出してください。

<技能習得型研修 達成度把握基準>

- ①レポート中に下記のキーワードもしくは行動が含まれているかを確認する
 - ②自地域における実際の場면을想定した内容になっているかを確認する。
- 技能習得型1:健康サポート薬局、かかりつけ薬剤師、健康増進
技能習得型2:情報の収集、身体所見・状態把握、ニーズの把握 提案
技能習得型3:①については用紙に指定した課題項目への記載
③については、他職との具体的な関わりの記載